

nagomi 会は最先端の医療をはじめました。

再生医療という新しい選択肢



今週の **花言葉**

アナスタシア

高貴・高潔

ナデシコ

純愛

ヒペリカム

きらめき



松田院長からあなたへ 耳より情報

■武蔵ヒートベアーズ横田 宏道捕手 再生医療 PRP 療法により復帰！

当院でメディカルサポートしているプロ野球独立リーグの武蔵ヒートベアーズの地元熊谷での開幕戦が4月7日に開催されました。茨城アストロプラネッツとの試合は見事勝利しました。そしてそこには肘のケガから復帰した横田宏道選手の姿が。

■肘の靭帯損傷に対して PRP 療法施行

昨年10月25日、右肘の靭帯を損傷した横田選手に健康スポーツクリニックの澁澤院長が PRP (多血小板血漿) を注射しました。その後リハビリを経て、見事に地元での開幕戦に出場可能になりました。

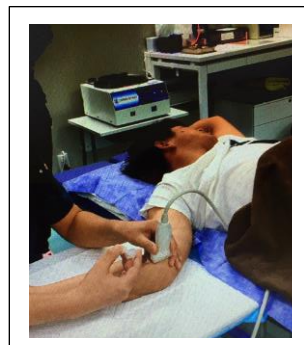
■PRP(多血小板血漿)療法とは？

PRP 療法 (多血小板血漿注入療法) は、自分の血液に含まれる血小板を利用した再生医療であり、血小板の持っている抗炎症作用や成長因子を高い濃度で抽出し、注射する治療法です。当院では厚生労働省の認可を受けて行っています。

■院長よりメッセージ

スポーツ選手は少しでも早い復帰を望みます。当院では靭帯損傷、腱炎などに対して PRP 療法を行っております。血小板を注射することで、**本来あった自己治癒機転を活性化し、怪我を治す環境を再獲得**することが期待されます。我々の取り組みが

少しでも多くのアスリート、スポーツ選手にとって早期復帰への手助けになれば嬉しいですね。頑張れ横田選手！頑張れ武蔵ヒートベアーズ！



看護科からあなたへ

現在、日本人のおよそ4人に1人が花粉症だと言われています。

目の充血、かゆみ、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、体がだるい、熱っぽい、喉や顔、首がかゆい、集中力が低下する等々。症状はさまざまですが、その不快感と憂鬱さときたらたまりませんね。

「周りは花粉症だけど、自分は大丈夫!」「花粉症なんて自分には関係ない!」そう思っていた人も急に花粉症になっていませんか?

では、なぜ急な花粉症に見舞われてしまうのでしょうか?

そもそも花粉症とは、最初は誰もが発症するわけではありません。

同じように花粉を吸っても、全くクシャミをせず花粉に対して影響を受けない人がいますよね?

それはこの花粉症のメカニズムにあります。

花粉症を発症するかなり前の段階から、体内では花粉症の発症カウントダウンが始まっているのです。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
スギ												
ヒノキ												
イネ科												
ハンノキ												
シラカンバ												
ブタクサ												
ヨモギ												
カナムグラ												

何故かと言うと、この花粉症という症状は、花粉が体内に蓄積された度合いで発症する症状だからです。

今現在で花粉症の症状が無くても花粉症は未然に防げるため、必要なマスクなどは用意しておくといいでしょう。花粉症は治す事も可能ですが、一度かかると改善するには困難の道を辿ります。早めの対策を打ち出して、飛んできた花粉を体内に貯め込まない予防をするよう気をつけていきましょう!